

マネージメント情報 2009年 6月

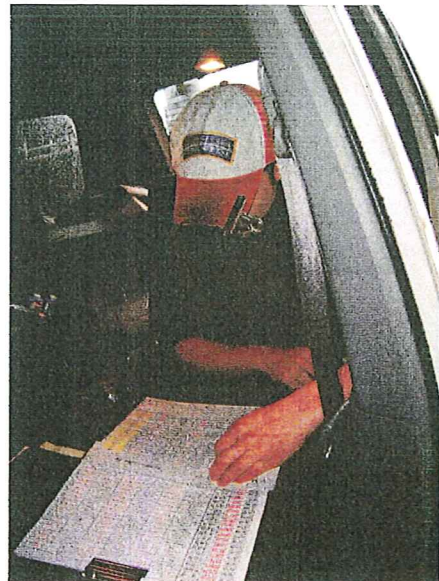
1. 上春別地区での授精業務を開始

5月号で報告したとおり、上春別地区での授精業務を6月1日より開始しました。授精依頼頭数も当初見込みより400頭ほど増え、6月現在は1400頭(初回授精として)ほどとなりました。授精専用車と太田授精師の様子を紹介します。

① 授精専用車と太田授精師



②授精専用車内部 精液タンクの保定と机



授精準備はすべて、車内で行えるように机を配しています。これによって、精液を風雨から守ることができ、より正確な仕事が可能となります。

タンクも垂直に保定され、取り出しの高さも無理なくできるように工夫されています。

各酪農家における授精対象全牛の過去 4 代祖の系統まで調べてあるノートによって、一頭一頭確認して授精精液を決めます。これによって、平均近交係数は、1.0 未満となりました。(近交係数 6.25%以上が近交弊害の現れる危険域とされ、06 年生まれの登録メス牛の平均近交係数は 4.7%にもなっています。また、オス牛では、すでに 5%代に突入していて、この回避が急務となっています)

- ③ タンク内のすべてのキャニスターには、アメリカ ABS 製の温度モニターが
いれてあり、タンク内の温度管理に異常があればすぐにわかるようにしてい
ます。



③写真



④写真

- ④ 注入器 (スパイダル) にはすべて番号が記されていて、複数授精時の間
違いを防ぐようにしてあります。

⑤ 精液の融解とタイマー

精液の融解ボックスとタイマーが備え付けられています。融解ボックスは現在3台備え付け（写真は2台）であり、各融解器には1度に2本までとして利用しています。中のお湯は毎日交換し洗浄します。融解ボックス上部に3台のタイマーが備え付けられていて、35-40秒に設定されています。



⑥ 正規カッターを利用し都度、アルコール綿花で消毒して利用します

⑦ すべての授精にシースカバーの利用をしています（写真なし）

⑧ 注入器は、授精までロッドウォーマーに挿入保管され、コールドショックを防ぎます



一つ一つの授精技術を大切に、一生懸命に取り組んでいます。どうぞ、これからも、温かく見守ってあげてほしいと思います。きっと、大きな花（結果）を出してくれるでしょう。

黒崎